

1. 評価結果概要表

作成日 平成21年 6月10日

【評価実施概要】

事業所番号	2970101438
法人名	ホームケア株式会社
事業所名	ホームケア-佐保
所在地	奈良県奈良市法蓮町545-4 (電話) 0742-23-9828
評価機関名	奈良県国民健康保険団体連合会
所在地	奈良県橿原市大久保町302-1 奈良県市町村会館内
訪問調査日	平成 21 年 5 月 29 日

【情報提供票より】(21年5月11日事業所記入)

(1) 組織概要

開設年月日	平成 13 年 11 月 1 日		
ユニット数	1 ユニット	利用定員数計	9 人
職員数	8 人	常勤 2 人, 非常勤 6 人, 常勤換算	4.9人

(2) 建物概要

建物構造	木造	
	2 階建ての	1 階部分

(3) 利用料金等(介護保険自己負担分を除く)

家賃(平均月額)	42,500 円	その他の経費(月額)	18,350 円	
敷金	無			
保証金の有無 (入居一時金含む)	有(100,000 円)	有りの場合 償却の有無	有	
食材料費	朝食	200 円	昼食	500 円
	夕食	600 円	おやつ	円
	または1日当たり 円			

(4) 利用者の概要(5月11日現在)

利用者人数	9 名	男性	3 名	女性	6 名	
要介護1		名	要介護2	4	名	
要介護3	1	名	要介護4	2	名	
要介護5	2	名	要支援2		名	
年齢	平均	77.5 歳	最低	62 歳	最高	95 歳

(5) 協力医療機関

協力医療機関名	岡谷病院・大宮診療所・上林歯科医院ほか
---------	---------------------

【外部評価で確認されたこの事業所の特徴】

当ホームは、在原業平ゆかりの「不退寺」近くの住宅地に、中の既存住宅を改装(一部増築)し事業開始されています。大きな石を配置した中庭に面したりビングは、自然光が差し込み温もりが感じられます。入居者は、特技や趣味を活かしながら本人の生活リズムで過ごされています。職員も、一人ひとりの尊厳重視を基本に支援されています。なお、看護師の配置や24時間の医師の確保があり、医療体制の整備が図られています。

【重点項目への取り組み状況】

重点項目	前回評価での主な改善課題とその後の取り組み、改善状況(関連項目:外部4)
	運営推進会議の機能強化への取り組みや自己評価の実施のあり方・職員育成・馴染みながらのサービス利用への工夫がなされています。
重点項目	今回の自己評価に対する取り組み状況(関連項目:外部4)
	サービスを自己評価する意義・目的を正しく理解され、多くの職員の職員参画の下に実施され、課題の把握等に活かす機会とされています。
重点項目	運営推進会議の主な討議内容及びそれを活かした取り組み(関連項目:外部4,5,6)
	運営推進会議は定期的に開催され、入居者の状況や提供されているサービスの内容等の報告と共に、運営上の課題や改善への取り組み等について意見交換がなされています。開陳された意見等は記録し運営に活かす取り組みもなされています。
重点項目	家族の意見、苦情、不安への対応方法・運営への反映(関連項目:外部7,8)
	運営推進会議の場の活用と、家族等の訪問時に不安に感じている事や意見・要望等を積極的に聞きだす取り組みがなされ、寄せられた意見等は会議に諮り必要な事項は運営に反映させる事とされています。なお、苦情・相談等のホーム内の担当者を、契約時に説明されていますが、重要事項説明書等に明確な記載がなされていません。家族等が気軽に相談等がし易くするために、記載が望まれます。
重点項目	日常生活における地域との連携(関連項目:外部3)
	自治会への加入や清掃活動への参加により、地域との関わりが広がりますが、日常的な関わりに希薄感があります。検討されています地域活動への積極的な参加の実現を期待します。

2. 評価結果(詳細)

(部分は重点項目です)

取り組みを期待したい項目

外部	自己	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(印)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
. 理念に基づく運営					
1. 理念と共有					
	1	地域密着型サービスとしての理念 地域の中でその人らしく暮らし続けることを支えていくサービスとして、事業所独自の理念をつくりあげている	「家庭的な環境のもとで、人格を尊重し入居者の立場にたって適切なサービスを提供する」とする理念がつけられています。		地域密着型サービスに位置づけられた事により、地域との交流がより重視されています。この視点を反映した理念の作成が望まれます。
	2	理念の共有と日々の取り組み 管理者と職員は、理念を共有し、理念の実践に向けて日々取り組んでいる	日々のカンファレンス等で、理念の共有化と実践に活かす様に話し合いがなされています。また、理念を簡潔な表現にまとめ見やすい場所に掲出されています。		
2. 地域との支えあい					
	5	地域とのつきあい 事業所は孤立することなく地域の一員として、自治会、老人会、行事等、地域活動に参加し、地元の人々と交流することに努めている	自治会への加入や清掃等地域活動の参加等により、地域との関わりに拡がりが見られます。		日常的な関わりに希薄感があります。検討されています地域活動への積極的な参加等の実現への取り組みを期待します。
3. 理念を実践するための制度の理解と活用					
	7	評価の意義の理解と活用 運営者、管理者、職員は、自己評価及び外部評価を実施する意義を理解し、評価を活かして具体的な改善に取り組んでいる	サービス評価の意義・目的を正しく理解され、自己評価は多くの職員の参画の下に実施され、課題の把握等に活かす機会とされています。また、外部評価を周知し改善に活かす取り組みがなされています。		外部評価結果を運営に活かす取り組みがなされていますが、活かし切れていない部分も見受けられますので、課題の解決への取り組みを期待します。
	8	運営推進会議を活かした取り組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこの意見をサービス向上に活かしている	幅広いメンバーで構成された運営推進会議は定期的開催され、入居者の状況や提供されているサービスの内容等の報告と共に、運営上の課題や改善への取り組み等について意見交換がなされています。開陳された意見等は記録し運営に活かす事とされています。		

外部	自己	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(印)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
6	9	市町村との連携 事業所は、市町村担当者と運営推進会議以外にも行き来する機会をつくり、市町村とともにサービスの質の向上に取り組んでいる	各種の相談や情報交換のため、頻繁に訪問されています。		
4. 理念を実践するための体制					
7	14	家族等への報告 事業所での利用者の暮らしぶりや健康状態、金銭管理、職員の異動等について、家族等に定期的及び個々にあわせた報告をしている	家族の訪問時に、暮らしの様子や健康状態等について報告がなされると共に、毎月発行のホームだよりの送付時に行事の写真添付と暮らしぶりを簡潔に纏めた手紙も添えられています。		
8	15	運営に関する家族等意見の反映 家族等が意見、不満、苦情を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている	家族の訪問時等に、不安に感じられている事や意見・要望等を職員が積極的に聞きだす取り組みがなされ、寄せられた意見等を記録し、会議に諮り必要な事項は運営に反映させる事とされています。		苦情・相談等のホーム内の担当者を、契約時に説明されていますが、重要事項説明書等に明確な記載がなされていません。家族等が気軽に相談等がし易くするために、記載が望まれます。
9	18	職員の異動等による影響への配慮 運営者は、利用者が馴染みの管理者や職員による支援を受けられるように、異動や離職を必要最小限に抑える努力をし、代わる場合は、利用者へのダメージを防ぐ配慮をしている	入居者の混乱やダメージを最小限に留めるため、職員の異動をできるだけ少なくし、異動時等には紹介はもとより他の職員がしっかりサポートする仕組みがあります。		
5. 人材の育成と支援					
10	19	職員を育てる取り組み 運営者は、管理者や職員を段階に応じて育成するための計画をたて、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている	法人の代表者は、職員の育成に熱意があり、法人内の計画的な研修の実施や必要に応じた外部研修の機会の確保が図られています。		
11	20	同業者との交流を通じた向上 運営者は、管理者や職員が地域の同業者と交流する機会を持ち、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている	地域のネットワークがあり、これへの参加による交流が持たれ質の向上への取り組みがなされています。		

外部	自己	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(印)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
.安心と信頼に向けた関係づくりと支援					
1. 相談から利用に至るまでの関係づくりとその対応					
12	26	馴染みながらのサービス利用 本人が安心して、納得した上でサービスを利用するために、サービスをいきなり開始するのではなく、職員や他の利用者、場の雰囲気徐徐に馴染めるよう家族等と相談しながら工夫している	入居は本人の納得を基本とされ、見学時には他の入居者や職員との会話を楽しむ時間等を設け、全体の雰囲気にも馴染める環境を作り安定した移行への取り組みがなされています。		
2. 新たな関係づくりとこれまでの関係継続への支援					
13	27	本人と共に過ごし支えあう関係 職員は、本人を介護される一方の立場におかず、一緒に過ごしながら喜怒哀楽を共にし、本人から学んだり、支えあう関係を築いている	一人ひとりの特技や経験を活かし、また、思いに共感した支援に努められています。		
.その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント					
1. 一人ひとりの把握					
14	33	思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している	一人ひとりの生活歴等の把握や暮らしの中の言動等の観察・掌握に努め介護計画に活かされています。困難な場合は、家族や医療機関から情報を得て、本人本位に検討されています。		
2. 本人がより良く暮らし続けるための介護計画の作成と見直し					
15	36	チームでつくる利用者本位の介護計画 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映した介護計画を作成している	介護計画は、より良い暮らしの維持・継続に資するものである事から、家族や関係者が相談・検討され作成されています。		
16	37	現状に即した介護計画の見直し 介護計画の期間に応じて見直しを行うとともに、見直し以前に対応できない変化が生じた場合は、本人、家族、必要な関係者と話し合い、現状に即した新たな計画を作成している	介護計画は、3ヶ月～6ヶ月ごとに見直しを行う他、身体的に変化が見られる時や日々のカンファレンスで生活面に変化がある時は、随時に見直しが行われています。		

外部	自己	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(印)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
3. 多機能性を活かした柔軟な支援					
17	39	事業所の多機能性を活かした支援 本人や家族の状況、その時々要望に応じて、事業所の多機能性を活かした柔軟な支援をしている	かかりつけ医の受診や買い物・一時帰宅時の送迎等家族の状況を勘案され、柔軟な対応がなされています。		
4. 本人がより良く暮らし続けるための地域資源との協働					
18	43	かかりつけ医の受診支援 本人及び家族等の希望を大切に、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している	協力医療機関を確保されていますが、本人の希望を優先した支援がなされています。その際には、暮らしの状態等の情報提供がなされ、受診機関との連携が図られています。		
19	47	重度化や終末期に向けた方針の共有 重度化した場合や終末期のあり方について、できるだけ早い段階から本人や家族等ならびにかかりつけ医等と繰り返し話し合い、全員で方針を共有している	家族等が重度化や終末期への関心の高い事を理解され、関係者が相談・検討し、対応指針が作成され職員への周知・浸透が図られています。なお、24時間の医療機関との連携体制が整備されています。		
. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援					
1. その人らしい暮らしの支援					
(1) 一人ひとりの尊重					
20	50	プライバシーの確保の徹底 一人ひとりの誇りやプライバシーを損ねるような言葉かけや対応、記録等の個人情報の取り扱いをしていない	職員は、「個の尊厳」を支援の大きな柱であることを念頭に、一人ひとりに合わせた言動を心がけ支援されています。なお、個人情報に関する書類等は、決められた場所で管理・保管されています。		
21	52	日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している	一日の基本的な生活の流れの設定がありますが、本人の状態を勘案されながら、希望やペースを尊重した支援に努められています。		

外部	自己	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(印)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
(2)その人らしい暮らしを続けるための基本的な生活の支援					
22	54	食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている	個々の能力に合わせて食事の準備や後片付けに協働され、楽しく食事が出来る雰囲気作りに工夫されています。		入居者の食事支援を優先に考えておられる事から、職員も同席されていますが同じ食事を摂られていません。食事支援も大切ですが、同じ物を一緒に食する意義についての再考を期待します。
23	57	入浴を楽しむことができる支援 曜日や時間帯を職員の都合で決めず、一人ひとりの希望やタイミングに合わせて、入浴を楽しめるように支援している	入浴日や入浴時間帯の設定がありますが、本人の希望やペースを優先した支援に努められています。		入居者一人ひとりの習慣や希望に沿った支援を行うため、夜間の入浴支援体制の検討を期待します。
(3)その人らしい暮らしを続けるための社会的な生活の支援					
24	59	役割、楽しみごと、気晴らしの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、楽しみごと、気晴らしの支援をしている	喜びのある日々を過ごせるように、特技が活かせる場面や役割の付与・趣味の実践等への取り組みがなされています。		
25	61	日常的な外出支援 事業所の中だけで過ごさず、一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援している	周辺散歩の日常化や買い物・ドライブなど外出機会の確保に努められています。		
(4)安心と安全を支える支援					
26	66	鍵をかけないケアの実践 運営者及び全ての職員が、居室や日中玄関に鍵をかけることの弊害を理解しており、鍵をかけないケアに取り組んでいる	施錠による弊害は認識されていますが、安全確保が優先されている状況にあります。		開錠することへの検討がなされていますが実現するまでには至っていませんので、実現を期待します。
27	71	災害対策 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を身につけ、日ごろより地域の人々の協力を得られるよう働きかけている	定期的に消火・避難訓練が実施されており、運営推進会議を通じて地域住民への働きかけが行われています。なお、法人内の応援体制の整備はなされています。		地域住民への応援・協力要請がなされていますが、十分理解・浸透を得るまでに至っていないと思料いたしますので、一層の働き掛けを期待します。また、災害時の非常物品等の備蓄についても検討される事を期待します。

外部	自己	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(印)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
(5)その人らしい暮らしを続けるための健康面の支援					
28	77	栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている	食事の摂取量や水分補給に状況は詳細に記録されており、栄養バランスについても、配食業者の献立表をチェックされ偏りのないよう注意されています。また、摂取能力に応じた調理への配慮もなされています。		
2. その人らしい暮らしを支える生活環境づくり					
(1)居心地のよい環境づくり					
29	81	居心地のよい共用空間づくり 共用の空間(玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等)は、利用者にとって不快な音や光がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている	中庭に面したリビングは、自然光が差し込み温もりが感じられます。また、トイレや浴室等の清掃も行き届き不快感を与えないよう努められています。		
30	83	居心地よく過ごせる居室の配慮 居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている	居室には、使い慣れた調度品や好みの物が持ち込まれ、安心して暮らせる居室となっています。		